

『誰だって薬は飲みたくないですよね』

吉良内科循環器クリニック 院長 吉良 哲也



当院にも高血圧や糖尿病、脂質異常症などの慢性疾患や生活習慣病のため、外来に定期的に通院されている患者さんがいらっしゃいます。そのような方の病状や検査値が悪化したときに

「内服の薬を始めましょう」あるいは「薬を追加しましょう」というお話をすると、「薬は飲みたくないのですが、、、」また「食事と運動を頑張れば薬は飲まなくてもいいですよね?」という声を良く聞きます。

もちろん生活習慣病の改善には食事・運動療法は欠かせませんし、自身の生活習慣を見直し、良くしようという姿勢は非常に望ましいことです。しかし生活習慣病は生まれ持った体質や年齢に大きく影響を受けるため、そういった努力だけでは解決できない部分も多々あり、薬の力を借りなければならないことが加齢とともに増えてきます。

生活習慣病は病状が悪化しても自覚症状が出にくいいため、自分ではどこも痛くも何ともないのに、本当に薬が必要なのか?という思いもあるでしょうし、誰だって薬は飲みたくない気持ちも良くわかります。できるだけ薬は増やさずに健康を維持したいという思いは治療する医者側も同じ思いです。

しかし生活習慣病の悪化は動脈硬化の進行につながり、脳卒中や心筋梗塞の危険性が高まります。薬を勧める時は食事・運動療法だけでは改善が難しく、本当に薬が必要な人に、薬は飲みたくないという気持ちも十分に承知した上でお勧めしています。生活習慣病の薬は長期間の服用が必要であり、患者さんも納得して服用して頂かないと治療が続かないこともあります。説明を良くお聞きになって、わからない部分があれば質問し、十分に理解された上で治療していきましょう。

吉良内科循環器クリニック 大分市大字角子原 870 TEL097-522-3000